

編集後記

執筆者紹介（五〇音順 肩書きは執筆時）

遠藤 健 <small>へん けん</small>	早稲田大学総合研究センター講師（任期付）
大門 泰子 <small>おの りょうこ</small>	早稲田大学文学史資料センター非常勤嘱託
沖崎 清豪 <small>おき きよたけ</small>	早稲田大学文学術院教授
大日方 純夫 <small>おひなた じゆんお</small>	早稲田大学名誉教授
佐川 享平 <small>さか が けんぺい</small>	早稲田大学文学史資料センター助教
田中 智子 <small>たなか ちとこ</small>	早稲田大学文学史資料センター助手
廣木 尚 <small>ひろき ながし</small>	早稲田大学文学史資料センター講師（任期付）
渡邊 義浩 <small>わたなべ ぎこう</small>	早稲田大学文学史資料センター所長 早稲田大学文学術院教授

第五三巻をお届けします。本巻には、二論文と三本の資料紹介を掲載することができました。

さて、巻頭文に記されている通り、大学史資料センターは、二〇二二年四月一日をもって、早稲田大学歴史館へと改組されます。本誌『早稲田大学史記要』は、校史資料室時代の一九六五年に発刊されました。以来、編集・発行主体が、大学史編集所、大学史資料センターへと再編されるなかにあつて、半世紀以上、誌名を変えることなく、巻数を重ねてきました。早稲田大学歴史館への改組後も、引き続き、刊行を継続することと なっております。

本巻の編集、ならびに、これまで本誌の刊行と大学史資料センターの活動にお力添えをいただきましたみなさまに、この場をお借りして改めて御礼を申し上げますとともに、引き続き関係各位のご協力をよろしくお願い申し上げます。

（編集担当一記）